



2018年3月期 決算説明会 決算説明資料

2018年5月24日

代表取締役 社長執行役員 安田 正介

証券コード：8130
(東証一部、名証一部)

目次

■ 2018年3月期 決算の状況	p.3
■決算のPOINT	p.4-5
■新規連結子会社について	p.6
■連結損益計算書	p.7
■連結売上高・営業利益・当期純利益推移	p.8
■連結税金等調整前純利益の増減（前期比）	p.9
■セグメント別売上高と営業利益	p.10
■インテリア事業 関連市場の状況 ・壁装材 ・床材	p.11-12
■連結貸借対照表	p.13
■連結キャッシュ・フロー計算書	p.14
■効率性指標（連結）	p.15-17

■ 中期経営計画(2017-2019)「PLG 2019」 2018年3月期の取り組み	p.18
■機能強化	p.19-21
■地理的拡大	p.22-23
■グループ企業の意識醸成	p.24
■人的資源強化	p.25
■収益管理体制強化	p.26
■資本政策	p.27-28
■ 2019年3月期 通期見通し	p.29
■連結業績見通し(概要)	p.30
■各事業の取り組み	p.31
■連結業績計画	p.32
■連結セグメント別業績計画	p.33
■連結税金等調整前純利益の増減（前年比）	p.34
■ 将来見通しに関する注意事項	p.35

2018年3月期 決算の状況

決算のPOINT

1 売上高 1,563.9億円：前期比+207.5億円(+15.3%)、計画比+3.9億円(+0.3%)

- ・海外事業：前期比+168.2億円
- ・インテリア事業：前期比+41.6億円(+3.6%)

2 売上総利益 475.7億円：前期比+74.6億円(+18.6%)、計画比▲4.2億円(▲0.9%)

- ・海外事業：前期比+63.8億円
- ・インテリア事業：前期比+12.0億円(+3.3%)

3 販売費及び一般管理費 425.3億円：前期比+100.0億円(+30.8%)、
計画比+6.3億円(+1.5%)

- ・海外事業：前期比+62.3億円
- ・インテリア事業：前期比+26.2億円
- ・新規連結先のれん・無形資産等償却：前期比+10.6億円

4 営業利益 50.3億円：前期比▲25.3億円(▲33.5%)、計画比▲10.6億円(▲17.5%)

5 当期純利益 45.1億円：前期比▲20.5億円(▲31.3%)、計画比+0.1億円(+0.3%)

決算のPOINT

インテリア事業

- サンゲツ単体の構造改善・機能強化の為の政策的経費増が継続。
商品開発力・営業力・物流機能等の事業遂行能力向上により、
着実にシェアアップ

海外事業

- 米国Koroseal社：スクラップ率高止まり等による製造原価増
見本帳費用計上方法変更による販管費の増
市場投入後4年で償却→市場投入後即償却へ
- 米国法人所得税率変更によりKoroseal社単体赤字、中間持株会社
は税率変更により黒字
- 山月堂（上海）単年度黒字達成

照明事業

- 照明事業が再度営業赤字化
- 価格競争による見込み案件の失注
- 主力商品の他社対抗品発売による販売減

新規連結子会社について

			2017年3月期				2018年3月期				2019年3月期				セグメント
			4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	
3月決算 サンゲツ他	日本	インテリア エクステリア 照明	2017年3月期 上期		2017年3月期 下期		2018年3月期 上期		2018年3月期 下期		2019年3月期 上期		2019年3月期 下期		インテリア事業 エクステリア事業 照明事業
3月決算 フェアトーン	日本	内装工事													インテリア 事業
3月決算 サンゲツ ヴォーヌ	日本	ファブリッ ク販売													インテリア 事業
12月決算 山月堂(上海)	中国	インテリア 材料販売													海外事業
12月決算 Koroseal社	北米	インテリア 材料製造 ・販売													海外事業
12月決算 Goodrich社	東南 アジア	インテリア 材料販売													海外事業

連結損益計算書

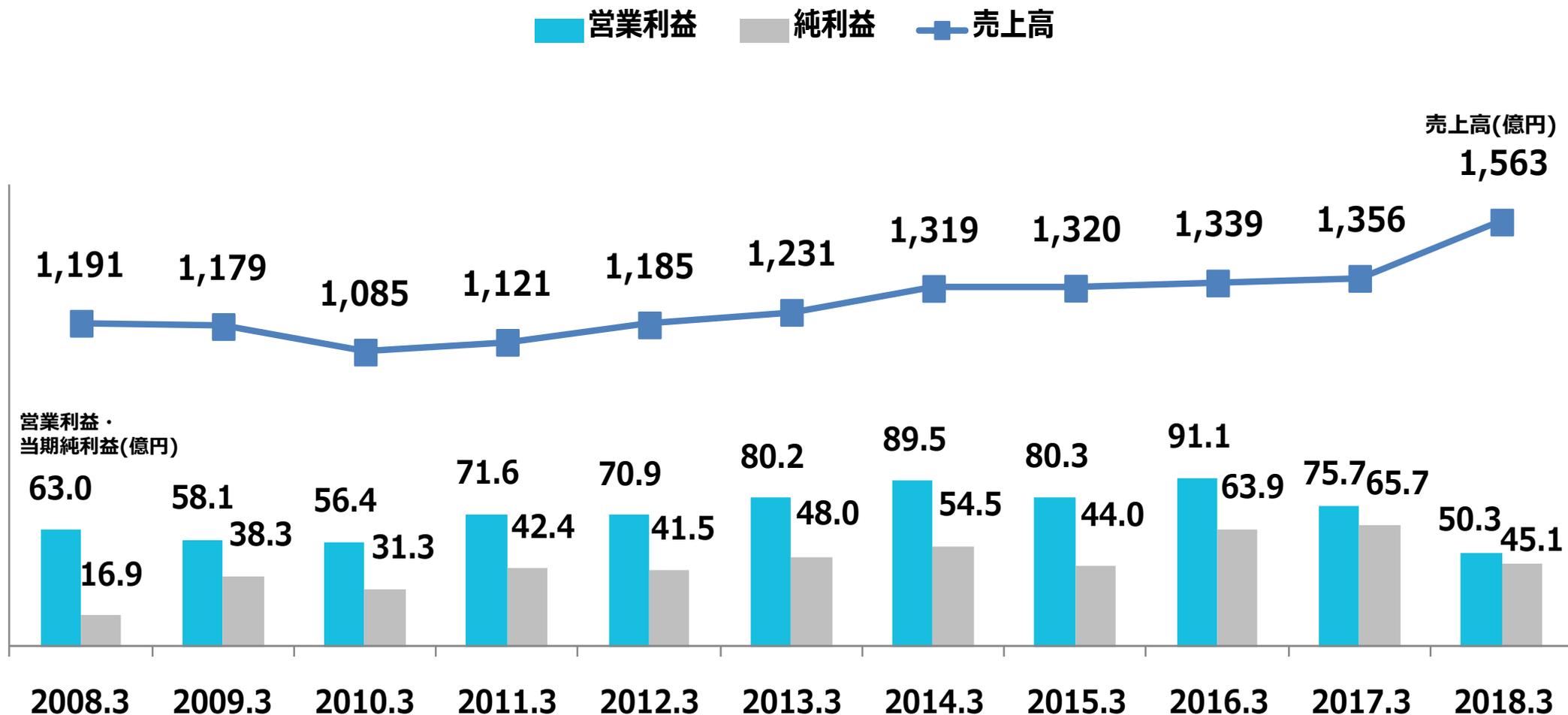
単位(億円、%)

	2017年3月期	2018年3月期				
	実績	修正計画	前期比(%)	実績	前期比(%)	計画比(%)
売上高	1,356.4	1,560.0	+203.6(+15.0%)	1,563.9	+207.5(+15.3%)	+3.9(+0.3%)
売上総利益	401.0	480.0	+79.0(+19.7%)	475.7	+74.6(+18.6%)	▲4.2(▲0.9%)
販売費及び 一般管理費	325.3	419.0	+93.7(+28.8%)	425.3	+100.0(+30.8%)	+6.3(+1.5%)
営業利益	75.7	61.0	▲14.7(▲19.4%)	50.3	▲25.3(▲33.5%)	▲10.6(▲17.5%)
経常利益	83.6	68.0	▲15.6(▲18.7%)	56.9	▲26.6(▲31.9%)	▲11.0(▲16.2%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	65.7	45.0	▲20.7(▲31.5%)	45.1	▲20.5(▲31.3%)	+0.1(+0.3%)
EPS(円) ※	97.4	67.9	▲29.5(▲30.3%)	68.8	▲28.5(▲29.3%)	
EBITDA	112.2	—	—	90.0	▲22.2(▲19.7%)	—

EBITDA = 税引前利益 + 支払利息 + 減価償却費 + のれん償却額

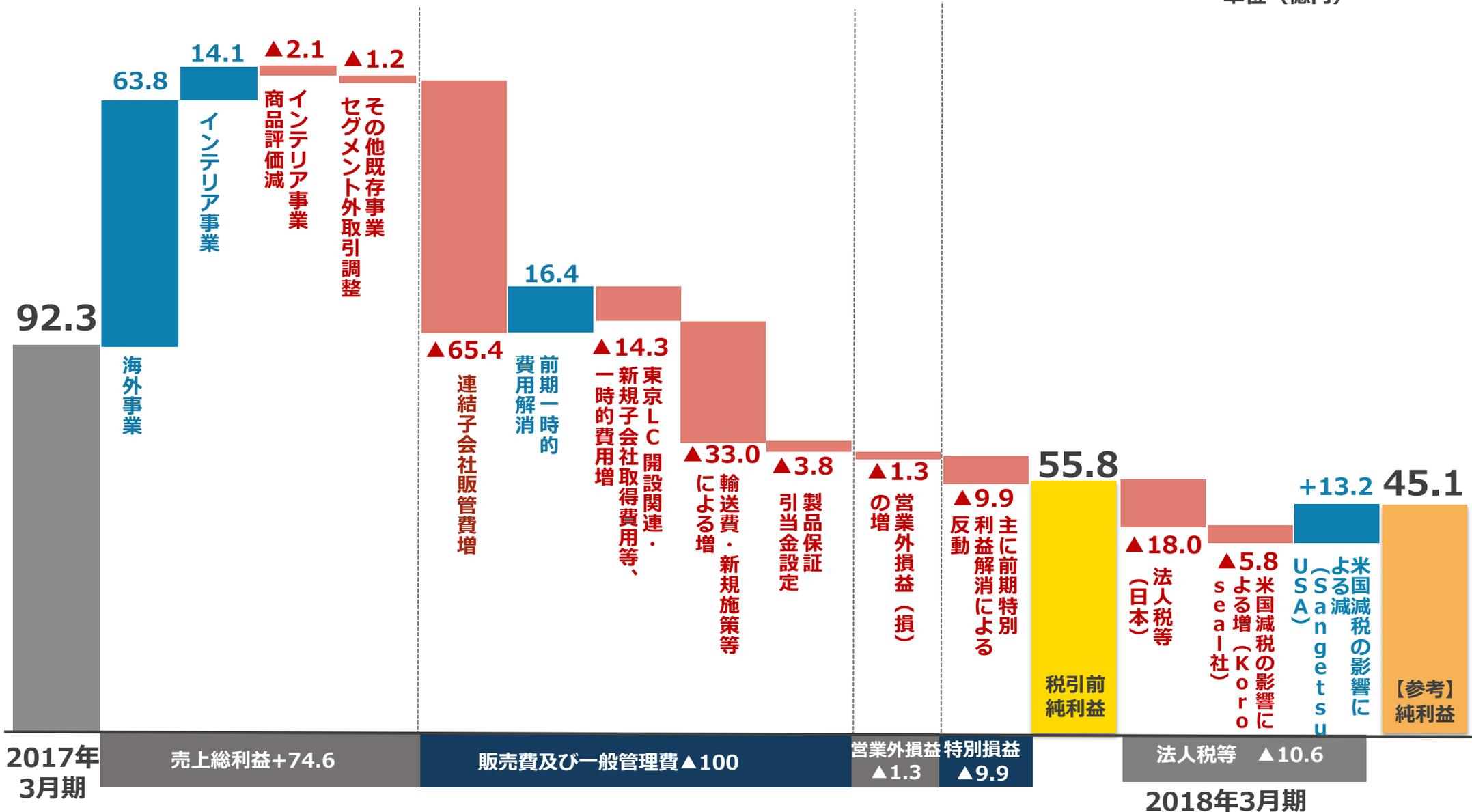
※EPSは潜在株式調整後の株式数にて算出

連結売上高・営業利益・当期純利益推移



連結税金等調整前純利益の増減（前期比）

単位（億円）



セグメント別売上高と営業利益

単位(億円、%)

事業セグメント	2017年3月期	2018年3月期				
	通期実績	修正計画	実績			
				構成比	前期比(%)	計画比(%)
インテリア事業 売上高	1,166.8	1,202.0	1,208.5	77.2%	+41.6(+3.6%)	+6.5(+0.5%)
壁装材	564.2	-	575.8	47.7%	+11.6(+2.1%)	-
床材	413.7	-	428.7	35.5%	+14.9(+3.6%)	-
ファブリック	77.0	-	79.0	6.5%	+2.0(+2.7%)	-
その他(フェアトーン含)	111.8	-	124.7	10.3%	+12.9(+11.6%)	-
営業利益	71.7	57.0	57.5	114.3%	▲14.2(▲19.8%)	+0.5(+0.9%)
エクステリア事業 売上高	147.7	150.0	150.1	9.6%	+2.3(+1.6%)	+0.1(+0.1%)
営業利益	4.0	4.5	4.3	8.7%	+0.3(+9.3%)	▲0.1(▲2.2%)
照明器具事業 売上高	42.3	41.5	36.6	2.3%	▲5.7(▲13.6%)	▲4.8(▲11.7%)
営業利益	0.2	0.0	▲1.3	▲2.7%	▲1.6(▲680.9%)	▲1.3(-)
海外事業 売上高	0.1	170.0	171.5	11.0%	+171.3(8,839,403%)	+1.5(+0.9%)
営業利益	▲0.2	1.0	▲8.7	▲17.3%	▲8.4(-)	▲9.7(-)
営業利益(のれん等償却前)	▲0.2	-	1.6	3.2%	+1.8(-)	-
セグメント間取引調整(売上高)	▲0.8	▲3.5	▲2.9	▲0.2%	▲2.8(-)	+0.5(-)
セグメント間取引調整(営業利益)	▲0.0	▲1.5	▲1.5	▲3.0%	▲1.4(-)	▲0.0(-)
連結売上高	1,356.4	1,560.0	1,563.9	100%	+207.5(+15.3%)	+3.9(+0.3%)
連結営業利益	75.7	61.0	50.3	100%	▲25.3(▲33.5%)	▲10.6(▲17.5%)

※海外セグメントを新たに追加し4区分に変更したため、2017年3月期実績の数値を変更後のセグメント区分に組み替えています。

※営業利益(のれん等償却前) = 子会社取得に伴うのれん・無形資産・有形固定資産償却費を除いた営業利益

インテリア事業 関連市場の状況(壁装材)

壁装材 関連市場の状況(カッコ内は業績に影響を与える対象期間)

単位(億円)

新築住宅市場 (2017年1月~12月)

新設住宅着工戸数 前期比	持家	▲2.7%
	賃貸	+0.2%
		▲0.3%

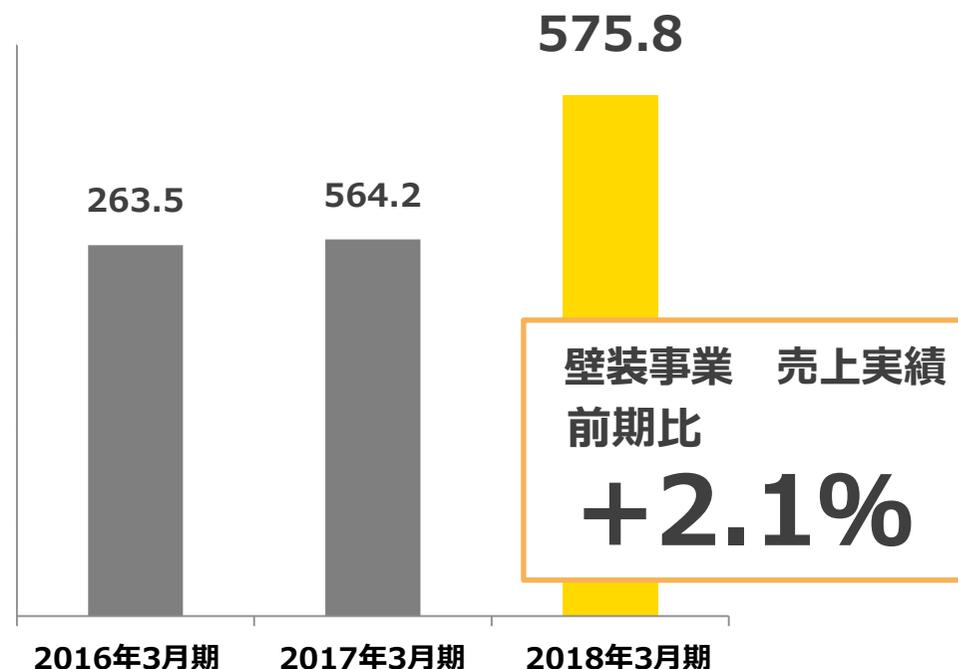
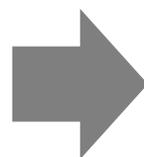
新設住宅着工床面積
前期比 ▲0.9%

住宅リフォーム市場 (2017年4月~2018年3月)

前期比 +0.3%

業界全体の壁装材出荷数量 (2017年4月~2018年3月)

前期比 ▲0.03%



- 量産壁紙(廉価品)の市場シェア拡大、一部の商品価格下落
- バリューチェーンへのきめ細かな対応強化により、シェア確保し売上増

インテリア事業 関連市場の状況(床材)

床材 関連市場の状況

単位(億円)

民間非居住建築物 着工床面積
(使途別,倉庫・工場を除く)

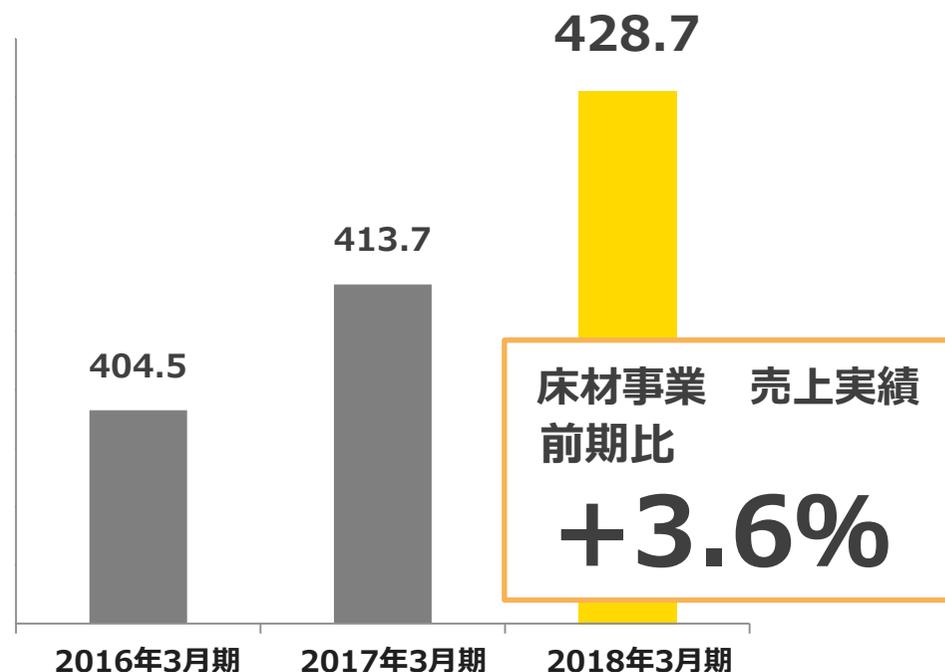
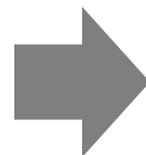
2016年度 前期比 +4.4%	2017年度 前期比 ▲0.7%
-------------------------------	-------------------------------

民間非居住建築物着工床面積(用途別)

	2016年度	2017年度
卸売業、 小売業用	+0.1%	▲7.8%
宿泊業、飲食・ サービス業用	+51.4%	+32.2%
医療・福祉用	+4.6%	▲14.9%
その他の サービス業用	▲7.4%	▲11.8%

業界全体の商材別出荷数量 前期比
(2017年4月~2018年3月)

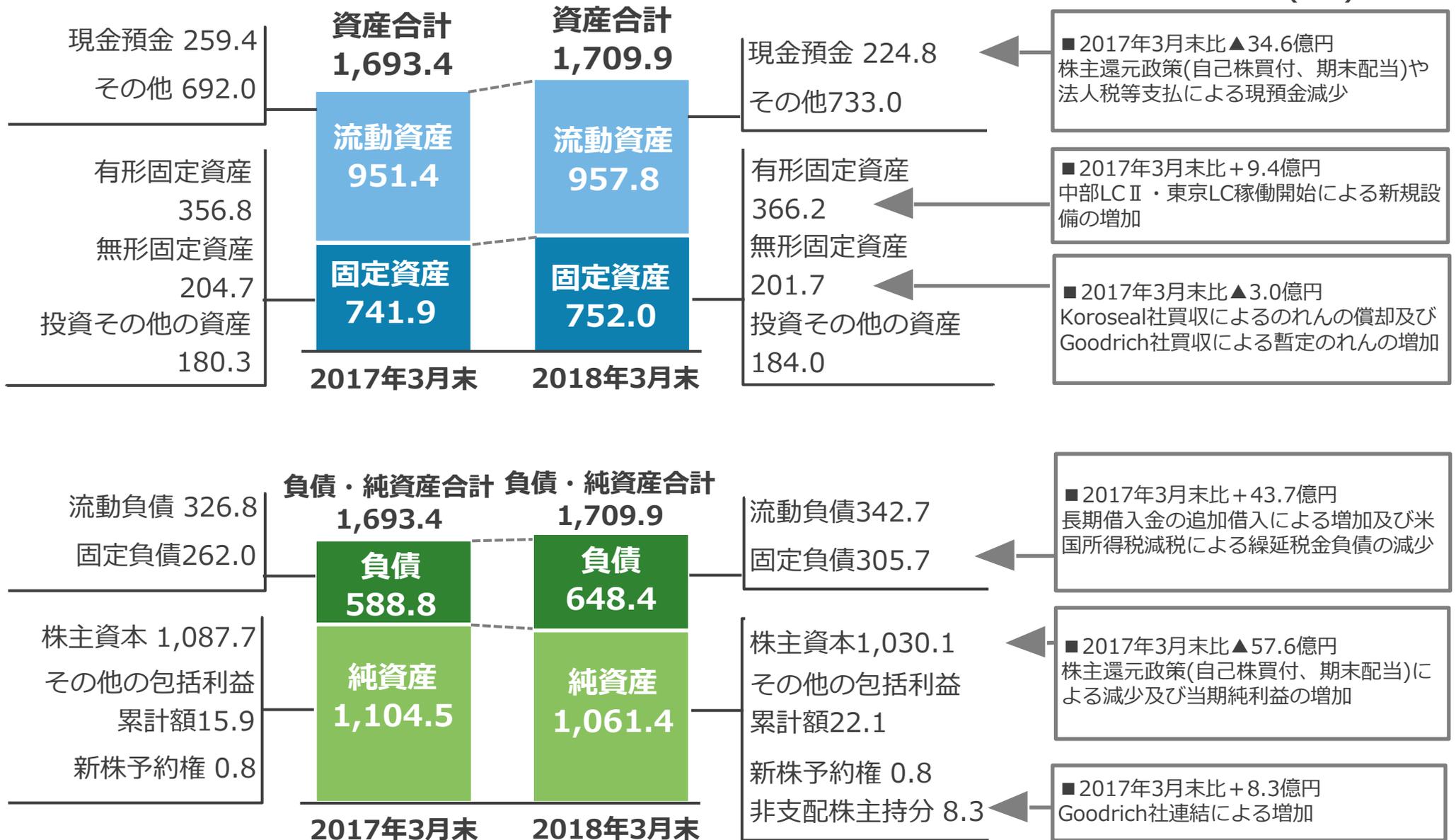
タフテッドカーペット	+4.3% (4-3月)
カーペットタイル	+2.4% (4-3月)
長尺シート	▲1.5% (4-3月)
フロアタイル	▲2.2% (4-3月)



- ホテル市場の好調を受け、カーペットは堅調
- 商業・医療福祉分野において、塩ビ系(フロアタイル、長尺シート)は順調に推移

連結貸借対照表

単位(億円)



連結キャッシュ・フロー計算書

単位(億円)

現金及び現金同等物 32.4億円減少

■ 営業キャッシュ・フロー +92.6

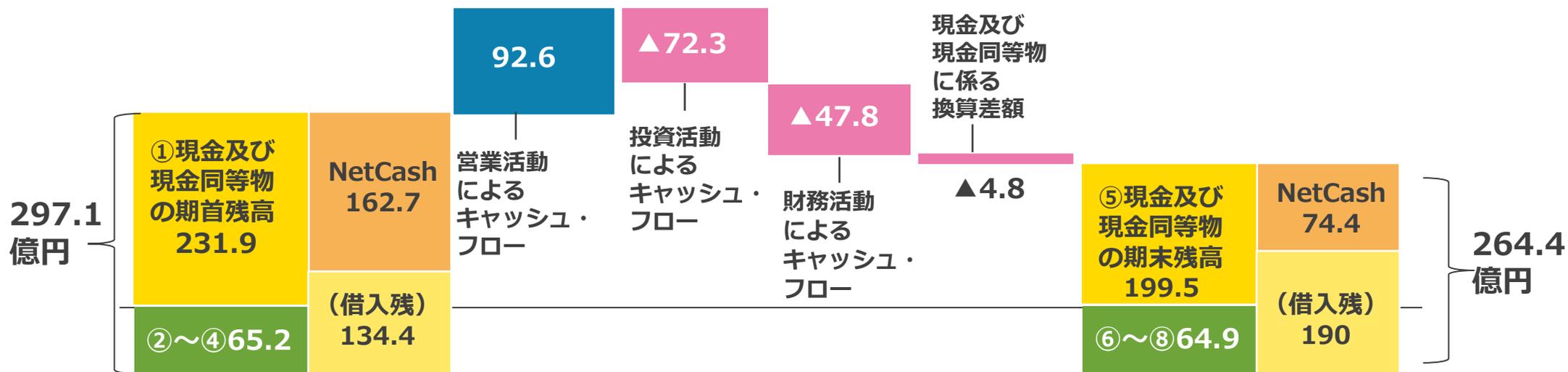
税金等調整前当期純利益 +55.7
減価償却費・のれん償却費 +36.0
法人税等支払 ▲37.2

■ 投資キャッシュ・フロー ▲72.3

有形・無形固定資産取得 ▲38.6
子会社株式取得 ▲25.5

■ 財務キャッシュ・フロー ▲47.8

自己株式取得 ▲69.9
配当金支払 ▲36.4
借入金増減 +55.3



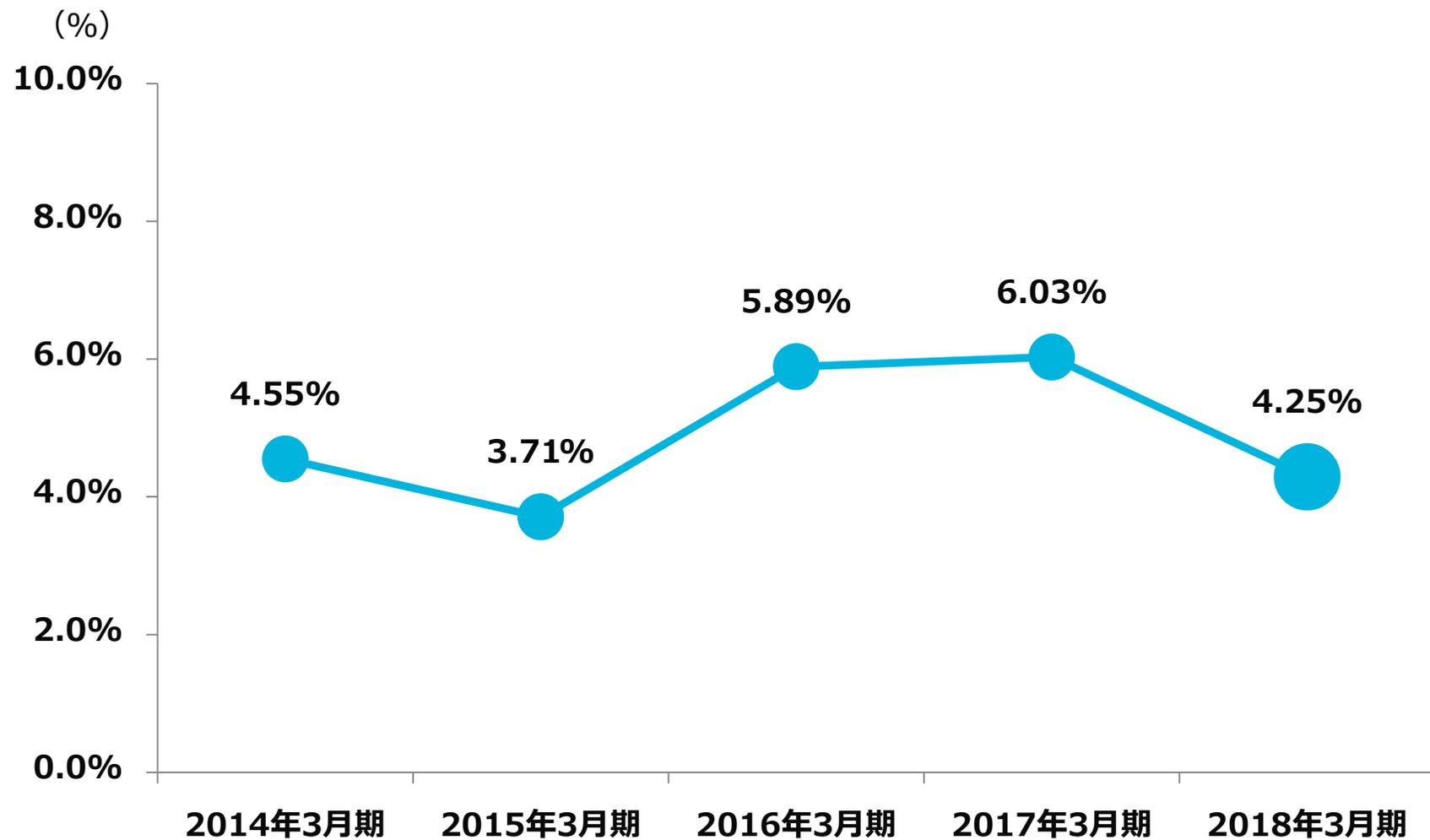
2017年3月末

- ① キャッシュ・フロー計算書記載の現金及び現金同等物 231.9億円
- ② 預入期間が3ヶ月を超える定期預金 27.4億円
- ③ 有価証券 18.0億円
- ④ 投資有価証券(株式除く) 19.6億円
- ①~④ **297.1億円**

2018年3月末

- ⑤ キャッシュ・フロー計算書記載の現金及び現金同等物 199.5億円
- ⑥ 預入期間が3ヶ月を超える定期預金 25.2億円
- ⑦ 有価証券 20.0億円
- ⑧ 投資有価証券(株式除く) 19.6億円
- ⑤~⑧ **264.4億円**

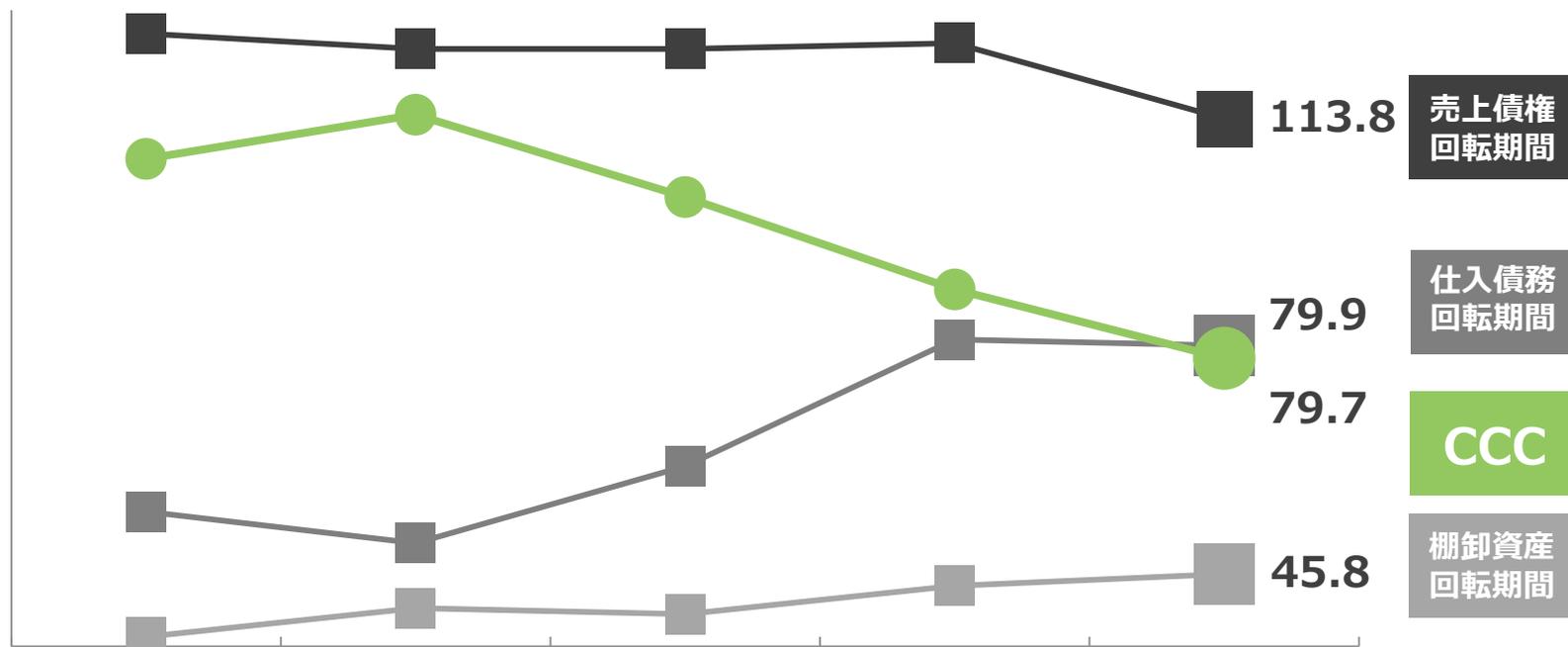
効率性指標（連結）ROE



※2017年3月期はKoroseal社連結前の総資産で算出
※2018年3月期はGoodrich社連結前の総資産で算出

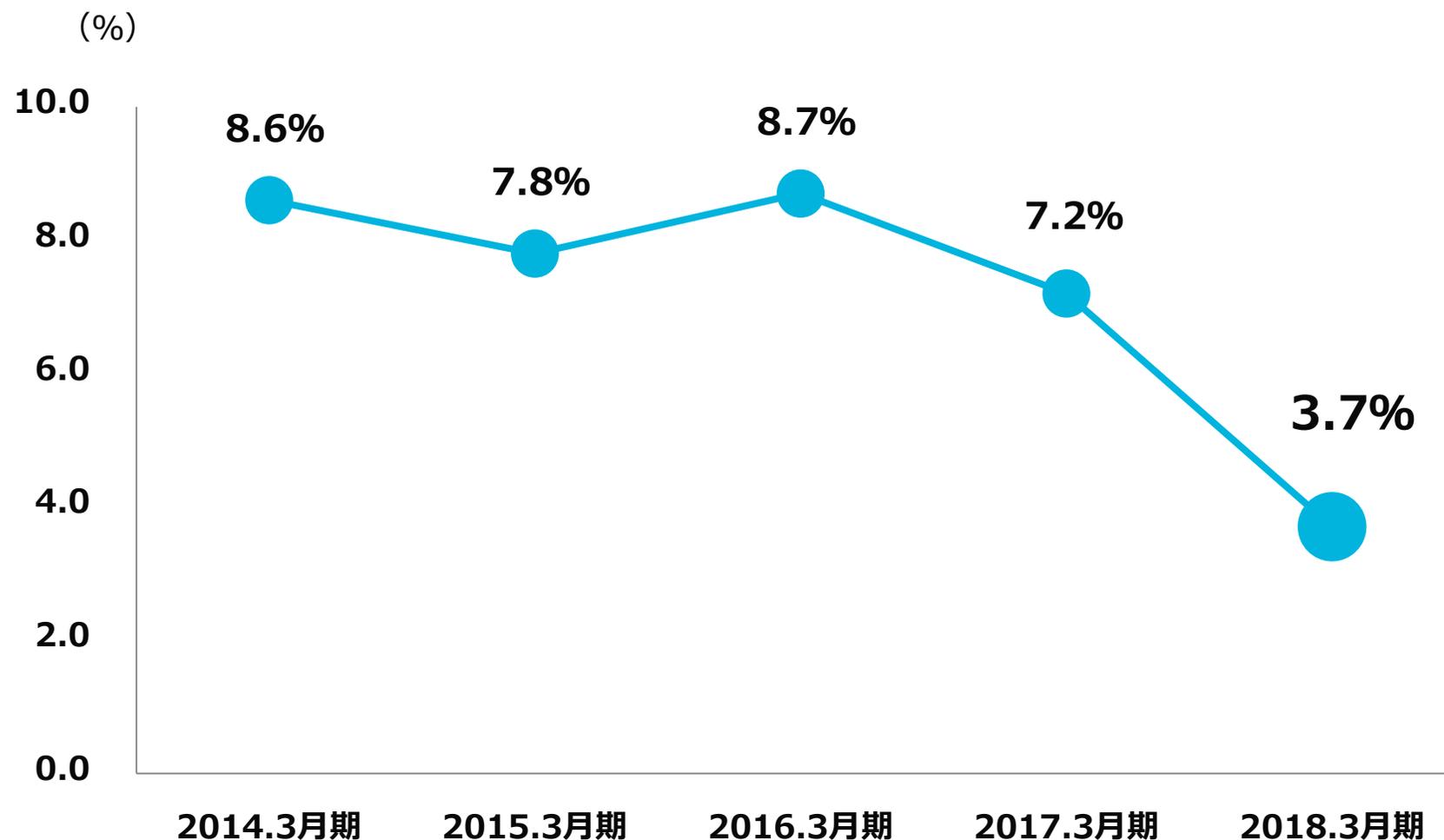
効率性指標 (連結) Cash Conversion Cycle

単位(日)



	2014年3月末	2015年3月末	2016年3月末	2017年3月末	2018年3月末
売上債権回転期間	126.5	124.2	124.2	125.1	113.8
棚卸資産回転期間	36.4	40.7	39.8	44.0	45.8
仕入債務回転期間	55.1	50.4	61.9	80.8	79.9
CCC	107.8	114.4	102.1	88.3	79.7

効率性指標（連結）ROIC



※2017年3月期はKoroseal社連結前、2018年3月期はGoodrich社連結前の資産で算出
※税引後営業利益 / (運転資本+有形固定資産+無形固定資産)

中期経営計画(2017-2019) 「PLG 2019」 2018年3月期の取り組み



機能強化 ロジスティクス

物流設備の新設統廃合

- 2017年5月 中部LCⅡ稼働開始
- 2018年1月 東京LC稼働開始
- 2019年1月 北海道LC、新規施設に移転・統合を決定

※LC:ロジスティクスセンター

中部ロジスティクスセンターⅡ
(愛知県稲沢市)
稼働：2017年5月8日



東京ロジスティクスセンター
(東京都大田区)
稼働：2018年1月5日



サプライチェーンを通じた 効率化の追求

- 拠点間輸送による仕入れの効率化
- 在庫の配置転換による作業効率化
- 首都圏の物流施設新設統合による
配送の効率化
- 配達時間の短縮による顧客サービス向上



2019年1月に稼働予定の北海道LC (パース図)

機能強化 営業体制

3D営業体制

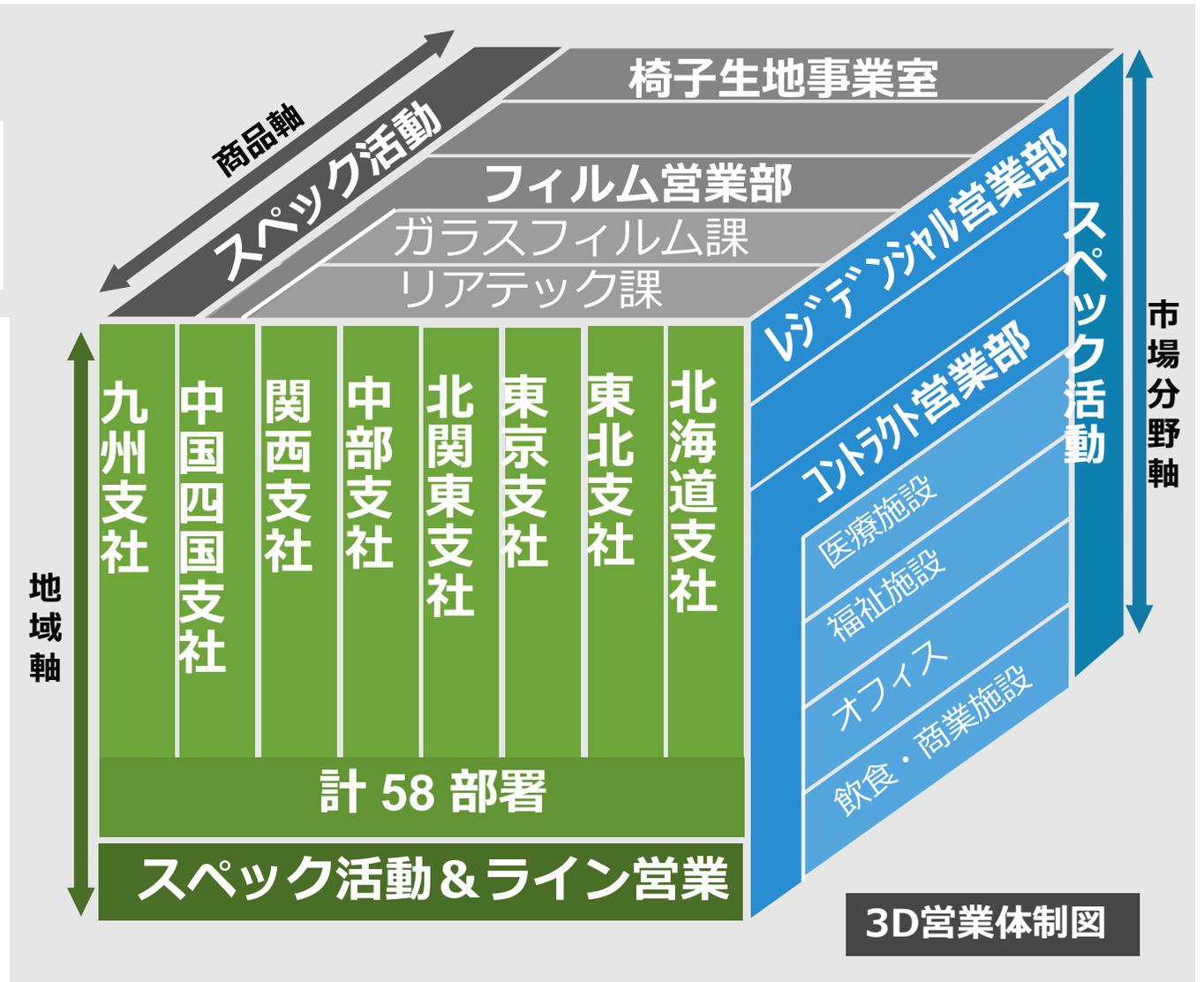
地域/市場分野/商品の3軸での
営業体制構築

営業と受注問合わせ業務の 統合

セントラル化した受注・顧客対応
業務を再分散、顧客・地域密着型に

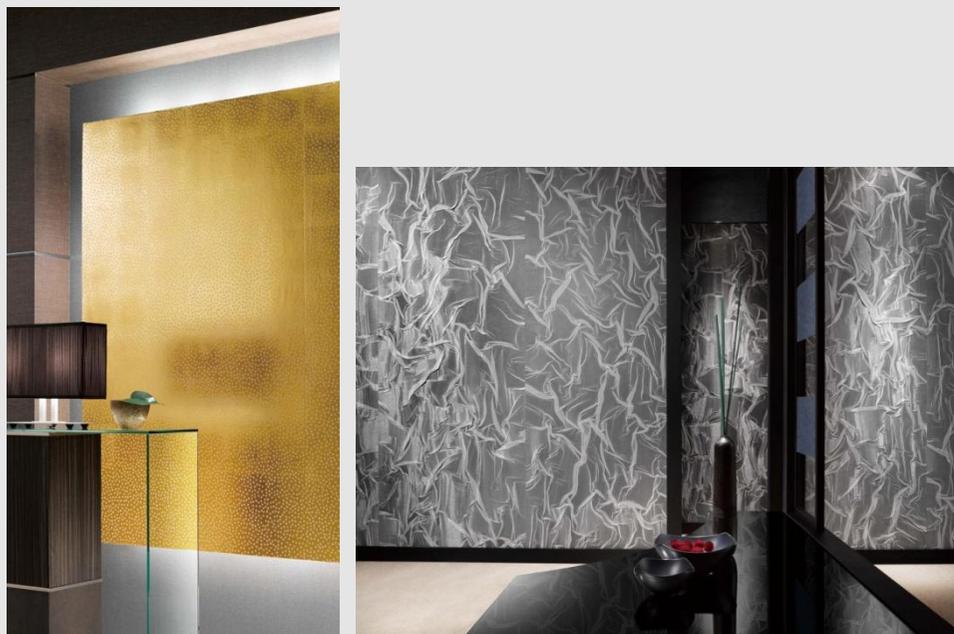
サンゲツ沖縄を設立

地域により密着した営業活動の強化
によりシェア拡大を図る
(2018年7月2日)



機能強化 高付加価値商品への注力

見本帳「エクセレクト」 (主に非住宅・ハイエンド住宅用途)



壁装材見本帳「エクセレクト」では、箔や和紙といった日本の伝統技術から生まれた和素材壁紙のほか、意匠性の高いグローバルブランドの壁紙を選びすぐって収録。インバウンド需要やより高い品質・デザイン性を求めるニーズに対応

見本帳「HAMPSHIRE GARDENS - EDA -」(主に住宅用途)

EDA ENGLISH DESIGN AGENCY
WALLCOVERINGS AND FABRICS
COLLECTION



“ファブリック”と“壁紙”のコーディネーションをテーマとした見本帳「HAMPSHIRE GARDENS (ハンプシャーガーデンズ) - EDA -」では、イギリスに拠点を構えるWalker Greenbank社のデザインアーカイブをもとに、サンゲツのオリジナルブランド「EDA」を展開

地理的拡大 Goodrich Global社買収



国	所在都市
シンガポール	シンガポール
マレーシア	クアラルンプール
中国	北京、上海、深圳、呉江、蘇州、香港
タイ	バンコク
インド	ニューデリー、ムンバイ
UAE	ドバイ

概要

- ・ 創業：1983年創業
- ・ 本社：シンガポール
- ・ 拠点：6カ国 12都市
- ・ 従業員数：339名（2017年7月時点）
- ・ 内装材料販売市場における東南アジア最大シェア

2017年12月期売上

56,693

(千シンガポールドル)



東南アジアでの事業基盤整備

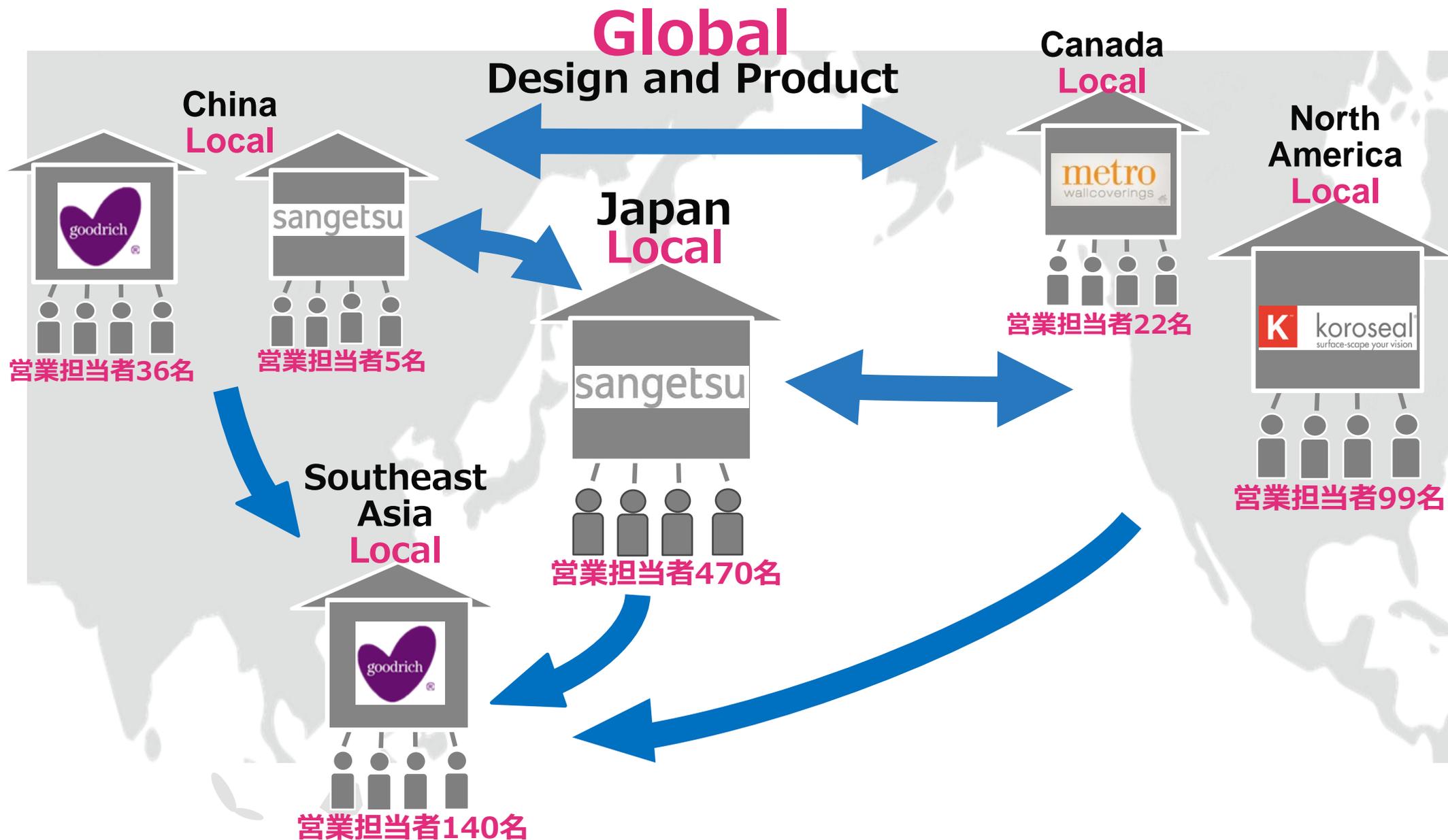
- ・ 営業員数：**176名**（東南アジア140名・中国36名）
- ・ ディストリビューションビジネスの確立

収益力アップ 国際調達力の強化

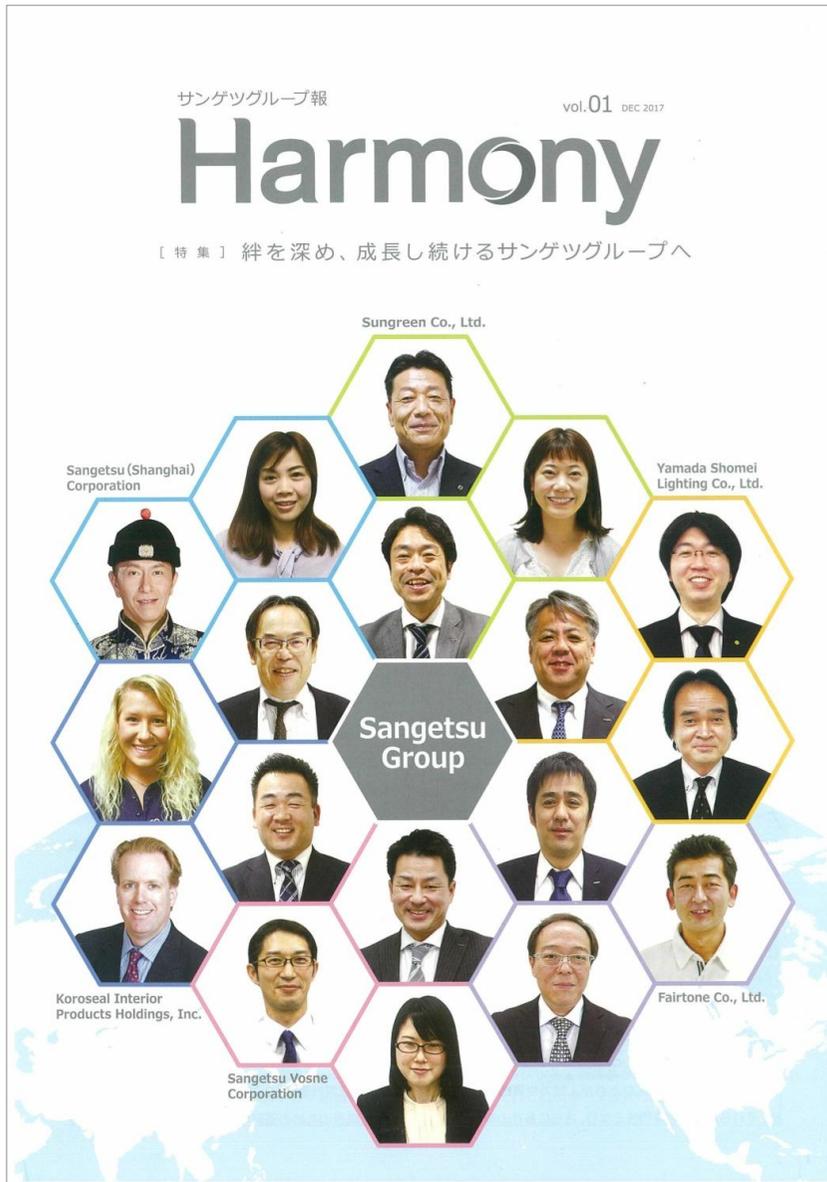
- ・ 世界各国からの商品調達力



地理的拡大 環太平洋事業体制



グループ企業の意識醸成 サンゲツグループ報「Harmony」創刊



2017年12月
サンゲツグループ全社員向けに
グループ報「Harmony」を創刊。

【言語】

- ・ 日本語、英語

【目的】

- ・ 社是「誠実」など企業理念の共有、浸透。
- ・ 中期経営計画「PLG 2019」の理解促進。
Personalな能力を高め、
Localで成果を出し、
Globalにデザイン・調達力を共有し、
シナジー効果を生む一助とする。
- ・ グループの相互理解を深め、一人ひとりの
仕事をグローバルにつなぐ。

人的資源強化 働き方改革の実行

フレキシブルな働き方の実現に向けた制度導入

(フレックスタイム制度導入・テレワーク試行)

研修制度の充実

ダイバーシティの推進

健康経営の推進



女性管理職比率 課長職以上11.4%

係長以上 32.9%

ワーキングマザー 121名 (女性社員中9.6%)

経営企画課長・広報IR課長・総務課長に女性を登用など、活躍の場を拡充

ホワイト500 2017年度版 取得

会社敷地内禁煙や全社員を対象としたストレスチェック等、健康経営に向けた取り組みを実行



仕事と育児の両立支援セミナー
女性社外取締役との座談会



Chief Cost Controller の機能強化

削減 → 他手段への代替

活用 → 設備・人材

転嫁 → 輸送費/商品/設備費/諸費用

収益管理体制を強化しつつ、10年～20年後の将来を見据え、
必要な施策を確実に実行する

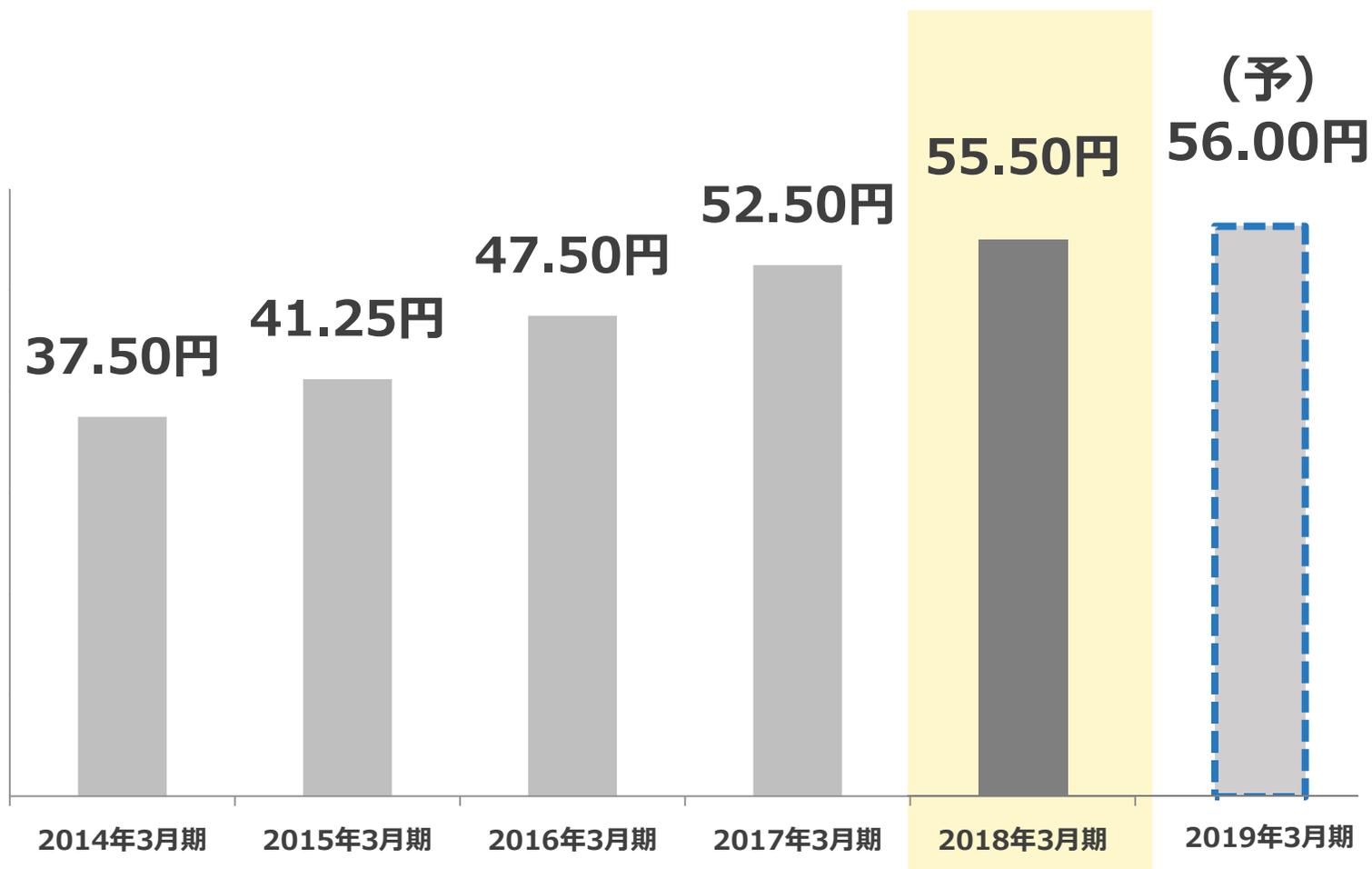
資本政策 自己株式取得の推移

	取得期間		取得した株式の総数	株式取得額の総額
①	2017年2月10日～2017年4月28日	4月分	52.2万株	10.0億円
②	2017年7月3日～2017年9月22日		100.0万株	19.7億円
③	2017年9月11日～2017年12月22日		95.1万株	19.1億円
④	2018年1月15日～2018年4月27日	1,2,3月分	94.6万株	20.8億円
合 計			342.06万株	69.75億円

配当	中間配当(12月支払)	期末配当(6月支払)	総配当額
2018年3月期	17.99億円	17.87億円(予)	35.87億円

総還元額	105.62億円	連結総還元性向	234.0 %
------	----------	---------	---------

■ 一株当たり配当額推移



■ 2018年3月期実績



2019年3月期 通期見通し

連結業績 見通し(概要)

1 売上高 1,640億円 前期比76.1億円増 (+4.9%)

- ・ **インテリア事業** 前年比 21.5億円増 (+1.8%増)
- ・ **海外事業** 前年比54.0億円増 (+31.5%増)
※Goodrich社新規連結分51億円を含む

2 営業利益 60億円 前期比 9.7億円増 (+19.2%)

- ・ **インテリア事業** 前年比5.0億円増 (+8.7%増)
- ・ **海外事業** 前年比3.4億円増
(のれん等償却後)

3 当期純利益 46億円 前期比0.9億円増(+1.9%)

各事業の取り組み

インテリア事業

収益改善の実施

- ・ 路線便運賃徴収実施、自社配送便の増強
- ・ 商品価格値上げの実施

照明事業

商品構成の見直し・製造コストの削減

- ・ 商品点数の大幅な削減による在庫回転率の改善と製造コストの削減

販売体制の見直し

- ・ 新規製品への依存意識脱却、汎用品との混合バランス改善

海外事業

米国 Koroseal社 事業強化

- ・ サンゲツ製品の販売（リアテック・日本製壁紙※織物箔・紙布）
- ・ 工場をLouisvilleに統合・新規設備導入

中国 山月堂(上海) 日系・中国系顧客対応強化

- ・ 人員体制強化 ・ 計画前倒しで累積黒字化を実現

東南アジア Goodrich社 連携開始

- ・ サンゲツより社員を派遣、商品・営業面での連携スタート



米国 Koroseal社
Louisville工場に導入したデジタル印刷機
壁装材の大判デジタルプリントは、商業インテリア
デザイン市場における成長分野のひとつ

連結業績計画

単位(億円、%)

	2018年3月期	2019年3月期											
	通期実績	上期計画	前期差		前期比	下期計画	前期差		前期比	通期計画	前期差		前期比
売上高	1,563.9	790.0	35.0	4.6%	850.0	41.1	5.1%	1,640.0	76.1	4.9%			
売上総利益	475.7	249.0	15.8	6.8%	271.0	28.5	11.7%	520.0	44.3	9.3%			
販売費及び一般管理費	425.3	229.0	23.8	11.6%	231.0	10.9	4.9%	460.0	34.7	8.1%			
営業利益	50.3	20.0	▲7.9	▲28.4%	40.0	17.6	78.6%	60.0	9.7	19.2%			
経常利益	56.9	23.0	▲8.7	▲27.6%	43.0	17.8	70.5%	66.0	9.1	15.8%			
親会社株主に 帰属する 当期純利益	45.1	16.0	▲4.3	▲21.3%	30.0	5.2	20.9%	46.0	0.9	1.9%			
EPS(円)※	68.8												
EBITDA	90.0												

EBITDA = 税引前利益 + 支払利息 + 減価償却費 + のれん償却額

※潜在株式調整後の株式数にて算出

連結セグメント別業績計画

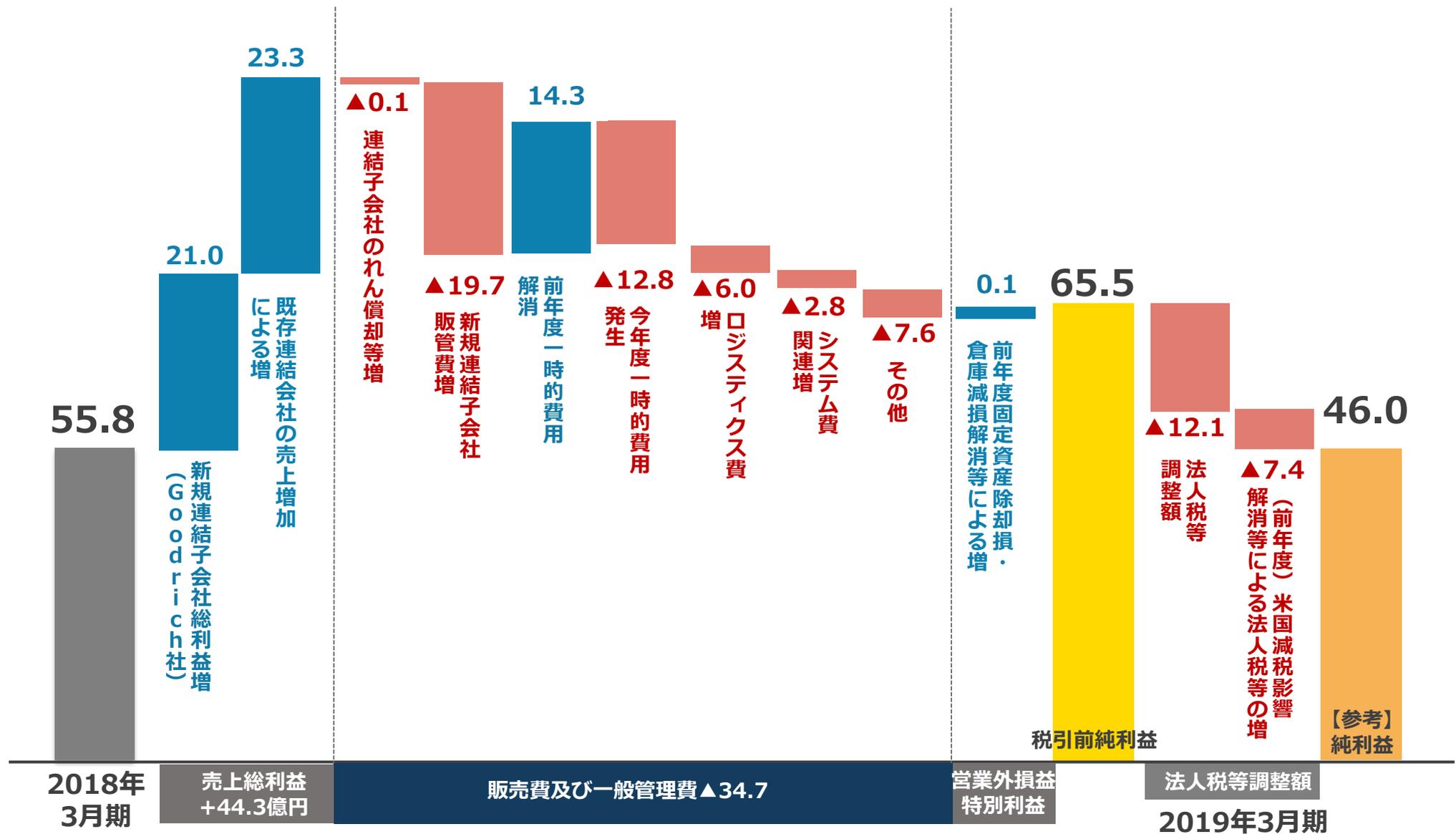
単位(億円、%)

		2018年3月期	2019年3月期								
		通期実績	上期計画			下期計画			通期計画		
			前期差	前期比	前期差	前期比	前期差	前期比	前期差	前期比	
インテリア	売上高	1,208.5	587.5	11.1	1.9%	642.5	10.5	1.7%	1,230.0	21.5	1.8%
	営業利益	57.5	21.4	▲3.5	▲14.4%	41.1	8.6	26.3%	62.5	5.0	8.7%
エクステリア	売上高	150.1	75.7	1.2	1.6%	76.3	0.7	0.9%	152.0	1.9	1.2%
	営業利益	4.3	2.3	▲0.1	▲4.2%	1.7	▲0.2	▲14.6%	4.0	▲0.3	▲8.9%
照明器具	売上高	36.6	17.3	▲0.6	▲3.4%	19.2	0.5	2.6%	36.5	▲0.1	▲0.4%
	営業利益	▲1.3	▲0.8	▲0.4	—	▲0.4	0.5	—	▲1.2	0.1	—
海外	売上高	171.5	111.5	23.8	27.1%	114.0	30.2	36.0%	225.5	54.0	31.5%
	営業利益	▲8.7	▲2.9	▲4.5	—	▲2.4	8.0	—	▲5.3	3.4	—
	営業利益 (のれん等償却前)※	1.6	2.1	▲3.0	—	2.7	6.1	—	4.8	3.2	184.0%
セグメント 間取引調整	売上高	▲2.9	▲2.0	▲0.4	—	▲2.0	▲0.8	—	▲4.0	▲1.1	—
	営業利益	▲1.5	—	0.6	—	—	0.8	—	—	1.5	—
合計	売上高	1,563.9	790.0	35.0	4.6%	850.0	41.1	5.1%	1,640.0	76.1	4.9%
	営業利益	50.3	20.0	▲7.9	▲28.4%	40.0	17.6	78.6%	60.0	9.7	19.2%

※営業利益(のれん等償却前) = 子会社取得に伴うのれん・無形資産・有形固定資産償却費を除いた営業利益

連結税金等調整前純利益の増減（前年比）

単位（億円）



将来見通しに関する注意事項

本資料には当社の「将来に関する記述に該当する情報」が記載されています。本資料における記述のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来予測に関する記述に該当します。

これら将来予測に関する記述は、現在入手可能な情報に鑑みてなされた当社の仮定および判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスクおよび不確実性ならびにその他の要因が内在しており、それらの要因による影響を受ける恐れがあります。

Joy of Design